

八幡製鐵所に 引續き急業

午後に至り警官警戒の
下に三分の一漸く就業

— 薄炭用の機関車動かさず

六日—特派員八幡電報

八幡製鐵所中、薄炭用の機関車を動かさず、急業を再開する。警官の警戒の下に、三分の一の急業が漸く進められていく。薄炭用の機関車は動かさず、急業の再開は、午後に至り警官の警戒の下に、三分の一の急業が漸く進められていく。

鉄鑪を捲く

非常汽笛を吹き鳴らし

製鐵所の頑固不遜なる

回答に嫌らず

形勢頗る險惡

暴動化の懼ありて小
倉聯隊出動を準備せり

八幡製鐵所の頑固不遜なる。回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

十時間 職工側は、暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

形勢の惡化に面喰つて

白二長官我に去る

化したるより、八幡製鐵所にては、何れも出動の準備を怠らぬ。形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

全滅

を投入し得て
憂が無かつた

生話

憂慮する、は
解決方法

兵器上の大問題

工務局長 宮田中將談

八幡製鐵所の急業再開。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

電報で 経過の通知を
受けて居るが、薄炭用の火が落ちて
ぬいさうだから未だ不幸中の幸
らう

だが若し火が落ちては、八幡製鐵所の急業再開。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

閉鎖の外はならぬ

職工自ら天に向つて叫ぶ。形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

北九州 一區の工業

八幡製鐵所の急業再開。職工側の要求なるを、政府側は、回答に嫌らず、形勢頗る險惡。暴動化の懼ありて小倉聯隊出動を準備せり。

東宮殿下

召津へ御還

七日 山御用取へ参向の御
下には八日午後三時十五分
御車召津御用取へ
遊ばされた(招津電話)